

2022年度あかつき幼稚園学校関係者評価

A.たいへんよい B.よい C.普通 E.一部改善を要する F.改善を要する

自己評価実施日 2023年3月24日

評価委員会開催日 2023年3月28日

本園の教育目標

一人一人が大切にされ、互いを認め合い育ち合う子どもたち。浄土真宗の人間観と世界観の実現を目指す。

①智慧 かしこさ

～ほとけさまをおがむ子～ いのちを大切に、よく考え自分と取り巻く環境を大切にできる子に育てる

②誠実 まごころ

～『ありがとう』の言える子～ 正直であり自分のことを素直に表現できる子に育てる

③意志 たくましさ

～話をよくきく子～ 心身の強さ、聞く態度を持ち、正しい行動、けじめのある子に育てる

④慈愛 やさしさ

～なかよくする子～ 思いやりがあり、お互いになかよくし、助け合い、元気いっぱい遊べる子に育てる

今年度の目標

1. 生命(いのち)の安全教育を各年齢に合わせ実践を行う
2. 安心・安全・衛生に配慮した子どもが育つ環境づくり
3. 「違い」で排除されず、受け入れ、共に育つ環境をつくる

| I 保育計画と内容 | 評価 | コメント | 前年 |
|-----------------------------------|----|--|----|
| 園の教育理念・方針を理解しているか | B | 教諭は子ども主体の保育の難しさを感じています。子どもたちの姿と計画の乖離、その間で悩む教諭の姿を思いました。 この「悩み」は教師としての使命感と子どもたちへの愛情の深さに挟まれ苦しむ姿だと思います。子ども理解を深め保育計画をもっと子どもたちに近づけなくてはなりません。私たちは保育計画はゴールではなく、常に私たちのスタートになるように学びと共有を進めます。 | B+ |
| 園の教育方針に沿った保育計画を立てているか | B | | B+ |
| 保育計画が適切であったか | B | | B |
| 子どもの発達・成長の記録があり、保育計画に生かしているか | B | | A- |
| II 保育のあり方・子どもへの対応 | 評価 | コメント | 評価 |
| 子ども一人ひとりを認めているか | B | コロナ時代の制限された環境で保育を展開されています。サポート園として多様な子どもたちの成長を支えながら、達成感を持った教諭が数多くいました。 | A- |
| 子どもに対して適切な言葉遣いであるか | B+ | | B |
| 子どもをほめたり、励ましたり、目当てを持たせられる保育をしているか | B+ | クラスの子の発達をクラス担任だけが把握するのではなく、全体化する事で子ども理解を深めたいというコメントがありました。 | B+ |
| 適切な学級運営ができていますか | B | 教職員集団の協働にもつながりますが、これからの課題は、教諭個人の達成感と集団の達成感があるように思いました。 | B |
| 常に創意工夫を持って毎日の保育を考えているか | B | | B |
| III 環境の構成 | 評価 | コメント | 評価 |
| 保育室・園庭、遊具などの安心・安全で清潔な環境構成をしているか | B | 「安全」「安心」という視点で、園庭、保育室、遊具を再点検している姿が見られました。 また、感性を育むという視点で、子どもたちとのルールのあり方へ問いかけもありました。 視点の違いは問題ではなく、環境の構成について教諭間で差があるのではないかと指摘もありました。子どもたちの発達や成長に合わせたテーマ、安全等に対して総合的な環境構成を学ぶ機会を持ちたい。 | B- |
| 園児の興味関心をはぐくむ環境構成をしているか | B | | B |
| 園児が安定して遊び込める環境構成をしているのか | B | | B- |
| 感性豊かに育つ環境構成をしているか | B | | B- |
| IV 教職員相互の協力・連携・役割 | 評価 | コメント | 評価 |
| 行事等の役割分担は明確であるか | C | 昨年度よりこの課題を難しく感じています。 「個別最適化と協働的な学び」につなげていきたいと思っています。 | B |
| 報告・連絡・相談は適切に行っているか | C | | B |
| 偏った人間関係(派閥)をつくっていないか | C | 幼児教育では「幼児一人一人が大切にされ、人やものとのかわりを構成し、豊かな活動にしていく」ために教師の役割が重要とされています。成長の基礎として幼児教育があるのだと思います。子どもたちの未来の姿を想定しながら保育をする私たちが、いつまでも「できない」ではいけません。 | C |
| 園長を中心とした組織としてまとまっているか | C | | B- |
| 上司からの指示命令には迅速に対応しているか | B | クラス担任や行事担当、指示系統、職種など幼稚園という小さな集団の中にも「違い」があります。未来の社会を考えると、与えられた事を実行するだけの時代ではないと言えます。私たちの「協働」は大切なテーマとします。 | A- |
| 守秘義務を守っているか | A | | A |
| 家庭の状況・出来事等の情報を教職員が共通理解しているか | B | | B+ |
| 教職員が共有すべき必要な情報を共通理解しているか | B- | | B |
| V 研修・資質向上 | 評価 | コメント | 評価 |
| 積極的に研修会に参加しているか | C+ | リスキングやアップデートが変化の時代の大切なキーワードになっています。教諭の学びこそ、子どもたちの「変化」や「多様な成長」に対応する姿勢でもあります。「学び」の機会を求め声大にします。その機会を共有し、教諭が主体的に学びたいという課題を研修会 | B |
| 自己課題をもって保育技術の向上につとめているか | B | | B+ |

| | | | |
|-----------------------------------|-----------|--|----------|
| 保育者として人間的な成長に務めているか | B | して学びのインプットだけでなくアウトプットをしっかりと設定し、研修等報告や園内研修という形で全体化を図ります。学びが現場の保育に活かせるような体制づくりに勤めます。 | B+ |
| 受けた研修を保育に生かしているか | B | | B+ |
| VI保護者への対応・家庭支援・地域とのかかわり | 評価 | コメント | 評価 |
| 子どもの気になる様子(病気・けが・けんか等)を保護者に伝えているか | A- | コロナ時代でも、一時期の一律の厳しい制限から、状況による緩和ができるようになりました。家庭との連携も顔を合わせる機会も増えました。保育は家庭の理解や協力を支えられていることへの気づきと感謝を教諭たちは感じています。 幼稚園の保育は家庭や地域、関係機関との「つながり」いう横軸と、乳児期の育ちの理解や小学校との連携を踏まえた縦軸への広がりがあります。 コロナ時代の気づきが、架け橋プログラムなどコロナ後の新しい時代 | A- |
| 保護者からの意見や要望に誠意を持って対応しているか | A- | | A- |
| 保護者からの育児などの相談について親身に対応しているか | A- | | A |
| 小学校の教育内容について知ろうとしているか | B- | | B- |
| 乳児の発達を理解しようとしているか | B | | B |
| 総合評価 | C+ | | B |

以上の通り、自己評価・自己点検を行いました。改善点については園長のコメントを付しています。私たちはより良い保育を展開するため、自らの課題を見出し改善に取り組みます。

あかつき幼稚園園長 村上 順滋

園長コメント

2022年度はコロナ時代にありながら、保育の質の向上、保育人材の確保、そして幼稚園の協働体づくりが課題でした。昨年度受託した「いのちの安全教育推進事業」から、保育現場にこそ「人権」の必要性を気付かされました。そして通園バス園児置き去り事件、虐待保育士事件と悲しい事件が続きました。幼稚園に集う園児・家庭・教職員すべてに「安心」が必要だとも思いました。

園内では特別支援の課題が大きくなりました。「多様な成長」と「ともに育つ」環境が整った幼稚園とはどのような幼稚園だろう。人を増やすだけでなく、全ての教職員が子どもの成長のために機能するための「学び」と「体制」の重要性を感じました。

2022年度を振り返り 幼児教育・保育、子育てのプラットフォームとして、“Well Being”の実現が急務と思っています。子どもをまん中に、家庭の人と教職員、園に関わる全ての存在が幸福となる幼児教育に挑戦します。

次年度の目標

1. 一人一人が大切にされ多様な成長を支える新しいあかつき幼稚園の保育を確立する
2. より保育に集中できる環境をつくるため、ICTの活用を進める
3. 保育や成長を語り合える場を作ります

評価委員への説明

コロナウィルス感染防止のため、リモートにて以下の説明をし、意見を求めます。

- ・令和4年度活動概要
- ・令和4年度中間自己評価・自己点検(令和4年12月実施)
- ・令和4年度自己評価自己点検
- ・令和4年度学校関係者評価記入表 等
- ・令和4年度あかつき幼稚園の紹介



Googleストレージにリンクしています

評価委員コメント

- ・あかつき幼稚園教育目標を全職員で共通理解し、緻密な保育計画のもと、日々丁寧に保育活動を実践されている。
- ・安心、安全な保育に力を入れている。
- ・心をしっかりと育てる人権教育を実践されていることなどにより、バランスよく子どもが育っている。
- ・明るい声が地域にこだまして、街を明るくしている。
- ・事故にだけは気をつけて欲しい。
- ・安心は信頼から生まれ、信頼はコミュニケーションから始まります。

| | | |
|------|-------|---|
| 評価委員 | 辻 健一郎 | 印 |
| 評価委員 | 深田 五男 | 印 |
| 評価委員 | 長谷 健悟 | 印 |